

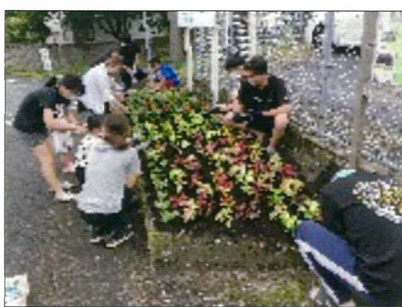
# 花いっぱい運動

6月16日に市から花の苗が届き、校区内の6自治会及び2団体に配布しました。花の種類は、マリーゴールド、サルビア、コリウスなど6種類で、一部花も咲いているしつかりとした苗でした。これから校区内を花いっぱいにして、明るい地域になっていくものと思います。

## 子どもたちと花植え

花の苗が配布された次の日（6月17日）の夕方に原田青少年館の花壇で花植えをしました。

原田和太鼓童・翔の子どもたち12名とその保護者の皆さんのご協力をいただき約400本の花の苗を植えることができました。地域の拠点である原



田青少年館が癒しの空間となりました。



# 薩摩川内市消防局を視察

「コミュニティ協議会の役員及び部会員で、6月25日に薩摩川内市の消防局（防災研修センター）を視察しました。

「深刻化する気象災害」と題するDVDを視聴し、災害への備えについて学び、続いて施設内に地震体験、暴風雨体験、煙体験ができるブースがあり、震度7の揺れや風速30m、煙室では真つ暗闇の恐怖を体験しました。地域において事前に危険箇所等を防災マップ等で確認することや、いざという時は早めに避難することの周知、また、お互いに助け合う仕組み



編集後記  
はらだコミュ第1号をお届けします。公民館からコミュニティ協議会へ移行して初めての新聞発行となりますが、不慣れながらもなんとか完成まで漕ぎつけることができました。これからも、コミュニティ活動について皆さんと情報共有できるように努めてまいります。地域づくり部長



# 志布志お釈迦まつり 原田校区をPR

4月29日に行われたお釈迦まつりのパレード及び太鼓フェスタに原田和太鼓童・翔が出演しました。

午前10時からのパレードでは、志布志町の千軒太鼓と一緒に太鼓を演奏しながら市街地を練り歩きました。

午後からの太鼓フェスタでは、雨が心配される中、無事に約30分間の演奏をすることができました。

久しぶりのパレードや演奏に多くのお客さんが見えになり、



原田校区をPRすることができました。



# はらだコミュ

# 設立総会の開催

公民館の定期総会及びコミュニティ協議会の設立総会が4月15日に原田小学校体育館で開催されました。

代議員等37名の出席者のもと、令和4年度の事業及び決算等の報告があり、校区公民館としての組織を終了しました。そして新たにコミュニティ協議会を設立することを決定し、その後、規約、まちづくり計画、事業計画、予算等が提案され、全会一致で承認されました。

また、新たな役員も決まり、令和5年度がスタートしました。新役員の方々は、今回に限り任期が1年となっております。来年の3月31日までとなっております。



発行  
原田校区コミュニティ協議会  
会長 吉川新一郎  
〒899-7511  
志布志市有明町  
原田584番地

〔令和5年度の役員〕  
会長 吉川新一郎  
副会長 若松剛志

書記会計 平野栄作  
監事 熊本幸男  
監事 小野四男

## 新会長あいさつ

時代に即応した取り組みに期待

長い間、校区公民館として地域づくり活動をしてまいりましたが、少子高齢化という大きな波の中で、適正に運営していくことが難しくなっております。今後、地域の課題に対応していくためには、組織を見直し、10年後、20年後を見据えた計画の中で取り組んでいく必要があります。

新たな組織であるコミュニティ協議会では、時代に即応した取り組みにより、様々な課題に対応できると期待しております。

## 愛校作業で学校がきれいになる

4月30日午前6時から原田小学校で愛校作業が行われました。

PTA、学校の先生方に加え、コミュニティ協議会の役員や各自治会からも多くのボ

ランティアの皆さんが参加してくださいました。

これからも児童の皆さんが気持ち良く学校生活を送れるよう地域みんなで応援していきます。



また、今回のコミュニティ協議会への移行に際し、多大なるご協力をいただきました準備委員会委員の皆様をはじめ、関係者の方々に深く感謝を申し上げます。



4月10日に原田橋近くの水田（面積が約300㎡）で、原田小の5年生及び6年生が田植えを行いました。今年度は、コミュニティ協議会の地域づくり部と一緒に取り組み、地域の皆さんも見学に訪れていました。



## 5・6年生で田植え

今後、草取りや収穫作業を行い、収穫したもち米で餅つき大会を行う計画です。子どもたちも一生懸命に作業を行い、約1時間30分程度で田植えを終了しました。

# 4年ぶりの合同運動会

## 原田小創立150周年記念



5月21日(日)に晴天のもと、第27回原田小地域合同運動会が開催されました。

小学校と地域の合同による運動会の開催は、4年ぶりで、児童たちの声や地域の方々の応援の声でにぎわいました。また、本年度は、原田小学校が創立150周年で、若松校長からあいさつの中で、「原田小は、明治6年2月に誕生し、11月に大原甚右衛門さん宅で授業を開始された。」とのお話がありました。

また、コミュニティ協議会の種目の孫のお土産では、児童たちとおじいちゃんやおばあちゃんがつなぎ、小さな輪から大きな輪に広がる軽い運動を行い、その後児童からお土産が渡されました。地域の皆さんも笑顔にあふれるほのぼのとした時間となりました。

その他に、小学生未満の子どもたちによるかけっこや、玉入れ、時間差綱引きを行いました。

各競技の応援に、原田和太鼓童・翔の皆さんが太鼓演奏で花を添えてくれました。



開会式での選手宣誓



孫のお土産でおじいちゃんおばあちゃんたちとふれあい



黄組



青組



久しぶりの玉入れ



ちびっこ集合で小学生前の子どもたちがかけこ

中学生も協力してくれました



赤白全員リレーのようす

### 志布志市とパートナーシップ協定締結

原田校区コミュニティ協議会は、志布志市と対等なパートナーであることを双方が理解して認め合う協定を6月26日に締結しました。

市の役割としては、財政支援、人的支援、施設面の支援及び情報提供を行い、コミュニティ協議会は、防犯や防災、環境美化等地域の課題について自主的かつ自律的に活動することとしております。

当日は、原田校区の他に、尾野見コミュニティ協議会、志布志小学校区コミュニティ協議会、八野地区ふるさと協議会、伊崎田校区コミュニティ協議会、有明校区コミュニティ協議会も出席され、締結式が執り行われました。



協定を締結しました



体育館駐車場がきれいに

7月2日に原田小PTAと原田校区コミュニティ協議会地域づくり部会と共同(15名)で、体育館に通ずる道路及び駐車場を整備しました。これまで、通路は凹凸が激しく、雨天の時は水たまりができやすい状況でしたが、今回の作業できれいになりました。